



社会福祉法人大泉旭出学園

旭出調布福祉作業所

事業概要



令和4年7月

1. 旭出学園

社会福祉法人大泉旭出学園は現在、障害者支援施設の運営を中心とする福祉事業を行っています。その源は、昭和25年に東京目白の徳川邸の一隅に、知的発達に遅れのある子どもの、全く私的な教育施設として発足した「旭出学園」です。法人格もないままに発足した「旭出学園」は現在、学校法人旭出学園／社会福祉法人富士旭出学園／社会福祉法人大泉旭出学園の三つの法人組織となって、教育と福祉の事業を行うに至っています。

2. 事業所の特色

昭和48年4月に東京都が設置運営していましたが、東京都の都立施設改革の一環として、平成17年4月に民間移譲され、当法人が運営事業者として自主運営を行っています。平成23年4月に障害者自立支援法による多機能型事業所として「就労継続支援B型事業」「就労移行支援事業」を開始しました。平成24年1月、老朽化に伴い事業所を建替え、色彩心理効果を考えた室内やエアシャワーを設置しました。また、「旭出調布福祉作業所」と名称を改め、利用されている方が主役になれるような支援を提供できるよう取り組んでいます。

令和4年3月末に「就労移行支援事業」を廃止し、就労希望者は「就労継続支援B型事業」にて対応しています。

3. 事業所の概要

- | | | |
|----------|---|--|
| (1) 所在地 | 〒182-0026 | 東京都調布市小島町3丁目26-1 |
| (2) 連絡先 | 電話 042-485-5885
E-Mail info@chofufs.jp | FAX 042-488-0019
HPアドレス http://www.chofufs.jp |
| (3) 施設種別 | 障害者福祉サービス事業所（就労継続支援B型）
アン・ファミリーユアさひで（共同生活援助） | |
| (4) 土地 | 1,034.82㎡（借地：東京都30年契約） | |
| (5) 建物 | 鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積 820.91㎡ | |

- (6) 沿革
- 昭和48年4月 東京都が「東京都調布福祉作業所」を設置運営
 - 平成16年8月 東京都が「調布福祉作業所」の運営事業者を公募
 - 平成17年4月 東京都から民間移譲、社会福祉法人大泉旭学園が自主運営
 - 平成22年9月 建て替えのため、仮設へ移転
 - 平成23年4月 就労継続支援B型事業・就労移行支援事業を開始
 - 平成23年11月 新築工事竣工
 - 平成24年1月 「旭出調布福祉作業所」名称変更・新築へ移転
 - 令和2年10月 共同生活援助事業を開始
 - 令和4年3月 就労移行支援事業を廃止

4. 運営方針

利用されている方が主役になれるような支援を提供します。

5. 定員

- 【 就労継続支援B型事業 】 定員60名
- 【 共同生活援助事業 】 定員8名

6. 事業の状況

令和4年7月1日(人)

事業	開設年度	定員	現員		
			男	女	計
就労継続支援B型事業	平成23年4月1日	60	41	17	58
共同生活援助	令和2年10月1日	8	1(4)	(3)	1(6)
計		68	42	17	59

7. 事業内容

(1) 就労継続支援B型事業

①個別支援計画に基づく支援

○利用者及び家族(関係者・関係機関)と話し合いながら、個性を尊重した計画書を作成し実施します。また、個別支援計画を6ヶ月に1回以上見直し、支援の向上を図ります。

②利用者情報の共有化

○毎日のミーティング等を活用して絶えず情報交換を行い、共通認識に基づいて支援します。
○利用者に関わる問題を多様な角度から検討・支援するため、定期的にケース会議を実施します。

③生活支援

○主体性や社会生活に必要な適応力(生きていく力)の向上を図ります。

④利用者自治会

○自らの生活や行事について話し合う場として、利用されている方々で運営していくことができるよう自治会をサポートします。

⑤就労支援

○施設外就労により働く喜びが感じられるよう取り組みます。(交流館・地域センター・公園)

⑥作業支援

○利用されている方の特性や利用目的・利用実態に沿ったグループ編成を行います。
 ○一人ひとりに合った作業方法を工夫して、作業の効率化を図ります。
 ○6ヶ月ごとに、一人ひとりの作業能力を評定基準で評価(評定会議の実施)し、伸ばすことができる部分や補うことができる部分について説明し、作業能力の向上を図ります。

⑦1日の流れ(月～金)

時 間	内 容
9:00～10:00	通所・着替え
9:00～12:00(12:30)	作業(1時間ごと10分休憩)
12:00～13:00(12:30～13:30)	昼食・休憩(各部屋ごと)
13:00～16:00(13:30)	作業(1時間ごと10分休憩)
16:00～16:30	更衣・帰宅

(2) 共同生活援助(アン・ファミリーユあさひで)

①基本方針

地域で自立した生活しながら通所施設や職場に通い続けられるよう支援します。
 一人ひとりの空間や時間を大切にし、個人として生活できるよう自立に向けた支援を行います。

②個別支援計画に基づく支援

- ・利用者及び家族(関係者・関係機関)と話し合いながら、個性を尊重した計画書を作成し実施します。また、個別支援計画を6ヶ月に1回以上見直し、支援の向上を図ります。

③利用者及び職員の動き

時間	平日		休日	
	職員	利用者	職員	利用者
↓	夜間支援	就床	夜間支援	就床
6:30	起床・朝食準備	起床・身支度	起床・朝食準備	起床・身支度
7:00	朝食・服薬管理	朝食・服薬・検温	朝食・服薬管理	朝食・服薬・検温
8:00	身だしなみ確認	身支度・通勤準備	身だしなみ確認	身支度
8:20	見送り	出発	清掃・支援	自由時間 外出等
↓	清掃等	仕事等		
16:00	帰宅準備	↓		
16:30	お迎え	帰宅		
↓	洗濯・入浴等支援 夕食準備	洗濯・入浴 自由時間	洗濯・入浴等支援 夕食準備	
18:00	夕食・服薬管理	夕食	夕食・服薬管理	夕食
↓	洗濯・入浴等支援 夕食片付け	洗濯・入浴 自由時間	洗濯・入浴等支援 夕食片付け	洗濯・入浴 自由時間
21:00	巡回	就寝	巡回	就寝

8. 利用者の状況（令和4年3月31日）（人）

障害者支援区分								愛の手帳				
未判定	1	2	3	4	5	6	計	1度	2度	3度	4度	計
	26	0	10	15	11	1	0	63	0	13	30	20

年齢				年齢構成											
最年少		最年長		18~29		30~39		40~49		50~59		60以上		計	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
19	19	67	65	22	10	7	1	5	4	5	4	4	1	42	20

東京都からの継続利用 11名

*共同生活援助除く

身体障害者手帳							他の障害			服薬		退所者			退所理由				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	ダウン症	自閉症	てんかん	抗てんかん薬	向精神薬	男	女	計	施設変更	入院	家庭	就労	その他
2	3	5	0	1	2	13	7	16	15	15	9	4	4	8	5	0	2	1	0

調布市	25	多摩市	12	稲城市	7	府中市	6
狛江市	4	世田谷区	3	八王子市	3	三鷹市	1
渋谷区	1	文京区	1				

就職の状況	
① 令和3年度	就職者数 1名
② 平成17年度より	就職者累計 26名 継続就職者数 17名

目標工賃および令和2年度の実績			
	令和4年度目標工賃	令和3年度目標工賃	令和3年度実績
総支給額	10,000,000円	9,600,000円	6,998,498円
平均工賃	12,000円	11,520円	8,418円

施設外就労	内容	回数(週)	1回あたりの人数
青少年交流館	清掃	2回	2人
染地地域福祉センター	清掃	2回	3人
公園清掃	清掃	1回	3人

*緊急事態宣言期間中は、中止または実施日を変更し対応した。

9. 職員状況(令和4年3月31日)(人)

	週40時間	週32時間以上 40時間未満	週24時間以上 32時間未満	週24時間未満 その他	計
正規職員	10	0	0	0	10
有期契約職員	0	2	4	9	15

10. 行事等の実施状況

行事名	実施日	備考
調布市花火大会観賞会		新型コロナウイルス感染症対策のため中止
宿泊旅行		新型コロナウイルス感染症対策のため中止
調布市福祉まつり		新型コロナウイルス感染症対策のため中止
新年会	令和4年1月	皆勤賞表彰のみ実施

活動名	実施回数	備考
利用者自治会	12回	目標・作業所での過ごし方など
学習会	11回	工賃・マナー・感染症対策
クラブ活動	38回	縮小して実施
企業見学会		新型コロナウイルス感染症対策のため中止

11. 家族連絡会等の実施状況

月	内容	人数	備考
4月	事業計画・職員体制・感染症対策 他	27名	
7月	事業実績・決算報告 他	11名	ZOOM開催
2月	次年度に向けて・感染症対策 他	24名	ZOOM3名 ハイブリッド開催

12. 会議・委員会の状況

会議・委員会	開催	内容等
リスクマネジメント委員会	5回	リスク分析・感染症対策（経営会議で実施） 事業継続計画書（新型コロナウイルス感染症）を作成
虐待防止委員会	5回	虐待防止・人権に関すること（経営会議で実施） 虐待防止研修の実施（全職員） 虐待防止チェックリストの実施（全職員）
福祉サービス第三者評価 旭出調布福祉作業所	評価機関	特定非営利活動法人 福祉経営ネットワーク
	特に良い点	①コロナ禍の中、BCPの見直しや受注作業の品質向上に取り組むなど、福祉事業所としての責務を果たす取り組みが成果となって表れている。 ②職位や職種、雇用形態ごとに役割意識をたかめられるよう、それぞれに業務を任命し、人材育成に取り組んでいる。 ③利用者及び家族と一緒に、個別支援計画を作成できるように、作成の手順（PDCA）を明記している。
	改善が望まれる点	①継続したリーダー育成の取り組みによる、組織マネジメント転換のますますの推進が期待される。 ②在宅支援においては、家族にも支援内容とその方法を丁寧に説明し、家族と連携を図りながら、在宅支援を支えていけるよう取り組まれない。 ③利用者の楽しみや生きがいにつながる地域資源をいかした活動として、「散歩クラブ」に続く、さらなる取り組みの検討に期待したい。
経営会議	年 5回	予定、支援の状況、感染症対策、検討事項 他
支援ケース会議 (就労継続B)	年 14回	個別支援計画、作業評価、利用者支援 他
支援ケース会議 (就労移行)	年 3回	個別支援計画、就労支援 他
支援ケース会議 (共同生活援助)	年 8回	個別支援計画、利用者支援 他
給食会議	年 6回	給食に関すること

13. 苦情解決の取り組み

苦情受付 1件	個人記録の記載 職員対応
第三者委員相談日	2回 家族連絡会開催日に実施
意見箱	意見 0件

14. 防災対策の状況

(1) 防災訓練

旭出調布福祉作業所 年2回	総合訓練（地震・火災想定・避難）	訓練参加者（利用者・職員）
アン・ファミリーユアさひで 年1回	総合訓練（夜間地震・避難）	訓練参加者（利用者・職員）

(2) 洪水時の避難確保訓練

旭出調布福祉作業所	水害想定訓練（避難）	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
-----------	------------	---------------------

(3) 消防点検

令和3年9月9日	旭出調布福祉作業所	特殊消防用設備等 点検	消防署報告
	アン・ファミリーユアさひで	機器点検	
令和4年3月8日	旭出調布福祉作業所	機器点検	
	アン・ファミリーユアさひで	特殊消防用設備等 点検	消防署報告

15. 決算状況

事業活動による収支	収入	事業活動収入計 (1)	167,757,580
	支出	事業活動支出計 (2)	151,588,148
	収支差額 (3) = (1) - (2)		16,169,432
施設整備による収支	収入	施設整備等収入計 (4)	0
	支出	施設整備等支出計 (5)	818,400
	収支差額 (6) = (4) - (5)		-818,400
その他の活動による収支	収入	その他の活動収入計 (7)	16,151,410
	支出	その他の活動支出計 (8)	20,315,920
	収支差額 (9) = (7) - (8)		-4,164,510
当期資金収支差額合計 (10) = (3) + (6) + (9)			11,186,522
前期未支払資金残高 (11)			57,514,066
当期未支払資金残高 (10) + (11)			68,700,588



旭出学園後援会

入会のご案内

大泉旭出学園の事業につきましてはかねてからご高配をいただきありがとうございます。
大泉旭出学園の特色は、教育の事業と連携して福祉事業を行っている点にあります。
「教育」と「福祉」は違う領域のように考えられがちですが、人が人らしく、よりよく生きていくための教育であり、福祉であり、切り離せない一体的なものであるというように考えるからです。
今日まで各方面からのご援助をいただき発展してまいりましたが、更に多くの方々に後援会の会員となっていただくことにより、一層のお力添えをいただきたく、また会員の方々には、お知り合いなどにご紹介いただけたら幸いに存じます。

会費(年額)

法人会員	1口年額	20,000円
個人会員	1口年額	3,000円

入会して頂ける方は、ご連絡をお願いいたします。
また、用途指定寄付についてのご相談もお受けいたします。

